

杉並区立松溪中学校 令和4年度学校運営協議会 第3回議事録

- 1 開催日時 令和4年7月11日（月）17：10～18：00
- 2 開催場所 杉並区立松溪中学校 多目的室
- 3 出席委員 檜枝光太郎、恵羅 博、石井 良典、望月航二郎、渡邊 麗、村木 由紀
目黒 由美、佐藤 伸彦、菅野 雅子、辻 成一郎校長
- 4 出席（学校）小川隆一副校長
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議内容（次第）

【1】会長より

- ①西田小との合同会議の開催については、これから進めていきます。
- ②今回実施した生徒との懇談は、3つのグループになった生徒が20分ずつではあったが、いろいろな意見を言ってくれて良かったと思いました。時間が短かったので、もっと工夫してやりたいと思いました。

【2】学校長より

- ①7月1日、2年生の赤ちゃんとの「ふれあい体験」を正式に実施しました。前回のトライアルと違って今回は授業としての実施なので、生徒の受け止め方をアンケートで調べました。（別紙資料有）一部の男子生徒は、赤ちゃんの対応が難しく怖がっていましたが、子育てに対する意識が開かれた生徒もいました。「かわいい」「命を感じた」と発する生徒もいました。
- ②進路に向けた説明会は、PTAと協力して進めています。
- ③コロナ禍での行事について、9月の修学旅行と10月の合唱コンクールは、このまま進めていく予定です。合唱コンクールは、会場の公会堂で昼食がとれないので、午後のみ開催の予定です。
- ④現在、コロナの感染者は、少し出てきている。感染経路がよくわからないケースもあるが、広がっている状態はないです。

【3】協議事項

（1）（会議前に開催した）生徒との懇談について

- ①生徒会の役員や学級の委員長と話ができたが、思っていたよりも生徒がよく話をしてくれました。それなりに自分の考えを持っていたので、凄いと思いました。
- ②生徒同士の関係は悪くなく、不満は少ないと聞きました。
- ③小学校の時よりもクラスや学年の壁を越え、良い雰囲気があると聞きました。
- ④子どもがこんなことに困っているということを聞いて、良い機会になりました。
- ⑤生徒の話は聞き流さず、機会をみつけて活かさなければと思いました。
- ⑥今日生徒から出されたコロナ禍で制限されていること等の話は、生徒には説明しているが、生徒がよく理解していないこともあると思います。
- ⑦子どもに見えていることを先生が見えていないこともあると思います。
- ⑧今日の話は、生徒会などの組織的にまとまった話ではないので、個人的な話として受け止めた方がよいと思います。
- ⑨生徒もこういう話をする場がなかったので、新鮮だったと思います。

- ⑩コロナ禍で仕方ないことも多く、応えられないのが辛く感じました。生徒の話参考にして、これからも考えていきたいと思えます。
- ⑪生徒との懇談は、またやりたいと思えました。特に今回は1年生が参加できなかったのが、1年生はどんな様子なのかを知りたいと思えました。
- ⑫生徒は自分の考えを持って参加しているので、先生への遠慮も感じました。本当に思っていることは言えてないと感じました。
- ⑬有意義だったが、毎回雑談ではしょうがないと思えます。意義ややり方を考えなければと思えます。調査的な聞き取りはやりたくないの、交流会的なもので良いのではないかと思えます。
- ⑭テーマを決めると話さなくてはならないと思え、負担が大きくなると思えます。
- ⑮20分ずつで交代するのではなく、もう少しゆっくり話す時間があると良いと思えます。

【4】学校報告

- ①6月24日～7月20日の報告(別紙資料有)
- ②7月4日の平和学習講演会は、実際に被爆された方に来校していただいたが、ご高齢になってきているので、今後の開催は難しくなってくると思えました。
- ③本日開催した進路説明会は、高等学校の先生に来校していただき、話をさせていただきました。
- ④前回の教員との意見交換会で話題となった理科出前授業は、安全性を確保して実施する予定です。

7 次回予定

令和4年9月12日(月) 16:00～ 松溪中学校多目的室にて